

令和7年4月16日

報道機関各位

長岡市商工部産業イノベーション課



会員は13社増！展示会の出展や産総研との連携で、バイオ産業の成長へ 長岡バイオエコノミーコンソーシアム総会を開催

長岡市は、令和3年6月に内閣府の「地域バイオコミュニティ」認定（現在全国6自治体、関東甲信越地区では唯一）を機に、バイオエコノミー^{※1}社会の実現に向け、未利用資源の利活用やバイオ産業成長・創出に取り組んでいます。

市内外の産学官金で構成する「長岡バイオエコノミーコンソーシアム」は、設立から5年目となり、会員は昨年から13社増えて65団体になりました。今年度は、アジア最大級のバイオテクノロジーの展示会「BioJapan2025」への市内企業との出展、国立研究開発法人産業技術総合研究所（産総研）への視察などの事業を計画しています。

このたび、令和7年度総会を開催します。今年度の事業計画を審議するほか、長岡市バイオ革新的ものづくり創出補助金の活用などの事例発表も行います。

つきましては、下記のとおり概要をお知らせしますので、ぜひ取材くださいますようお願いいたします。

令和7年度長岡バイオエコノミーコンソーシアム総会

- | | |
|---------|--|
| 1 日時 | 4月23日（水）午後2時～4時 |
| 2 場所 | アオーレ長岡 市民交流ホールA（長岡市大手通1-4-10）
※オンライン参加もあり |
| 3 内容 | (1) 会長あいさつ（磯田長岡市長）
(2) 令和6年度事業報告、令和7年度計画（案）について
(3) 新会員の紹介
(4) 事例発表・意見交換（午後3時頃から）
・長岡市バイオものづくり革新的補助金事例紹介
・新潟県とNICOのものづくり支援
・「長岡・産総研 生物資源循環 BIL ^{※2} 」の活動報告
・長岡技術科学大学のバイオエコノミーの社会実装に向けた取り組み |
| 4 参加予定者 | 63人（現地50人、オンライン13人） |

※1 バイオエコノミー

バイオテクノロジーや再生可能な生物資源などを利活用し、持続的で再生可能性のある循環型の経済社会を拡大させる概念

※2 長岡・産総研 生物資源循環 BIL

産業技術総合研究所（産総研）、長岡技術科学大学、長岡市の3者で「有機廃棄物を含む生物資源の資源循環」をテーマとした研究開発や、長岡市とその周辺地域の食品・バイオ関連などの企業支援を連携して行っていくもの。産総研のBIL開設は令和5年11月、全国2か所目で自治体が参画するのは長岡が初。

問い合わせ：産業イノベーション課 門脇

TEL 0258-39-2402